

鳥取県災害対策本部会議（第8回） < 鳥取県中部地震 >

【日時】 10月28日（金）17:15～

【場所】 災害対策本部室（県庁第2庁舎）

数値等は速報値のため今後変更となることがある。

発生日時： 10月21日 14時07分

震源： 鳥取県中部（N35度22.8分、E133度51.3分）

マグニチュード： 6.6（**暫定値**）

震源の深さ： 11km（**暫定値**）

【各地の震度（鳥取県関係）】

震度6弱 倉吉市、湯梨浜町、北栄町

震度5強 鳥取市、三朝町

震度5弱 琴浦町、日吉津村

この地震による津波の心配なし

1 県の対応状況など

10月21日（金）

14:07（発災同刻） **県災害対策本部設置**

15:05 第1回災害対策本部会議（直近10/25 第7回会議）

16:20～ **災害時緊急支援チーム派遣（倉吉、湯梨浜、北栄）**

19:22 **自衛隊の災害派遣（倉吉市へ給水）**

【災害救助法の適用】 10/24三朝町を追加適用

◆**県内4市町に災害救助法を適用**

（倉吉市、三朝町、湯梨浜町、北栄町）

◆**適用日 10月21日（4市町とも）**

2 物資等の調達・支援

- 被災市町（倉吉市、湯梨浜町、北栄町）へ食事、飲料水、毛布を調達済
食事は継続して手配中
- 離乳食（湯梨浜町）の要請 対応済
- ブルーシート、固定用ロープ等の配布・敷設準備
兵庫県、徳島県、熊本県、県内市町村、中国地方整備局、中国知事会、協定業者等から調達。
自衛隊・県職員災害応援隊が支援（10/22～）
- 倉吉市ボランティアセンター設置のため電話の臨時設置
NTTと倉吉市社協で詳細調整
- 避難所の物資ニーズを調査中
随時対応予定。ストーブほか納品済

3 り災証明の受付状況 28.10.27現在

鳥取市(10/26~)受付数29件

倉吉市(10/23~)

三朝町(10/24~)受付数239件

湯梨浜町(10/23~)受付数347件

北栄町(10/25~)受付数784件

琴浦町(10/24~)受付数91件

伯耆町(10/22~)受付数1件 合計1,491件

倉吉市は、住民の届け出により、被災状況調査を実施し、罹災証明願を受付ける方式をとっている。(27日現在届出数1,860件)

4 目標

目標 避難の早期解消 被災者に安心と健康を

1 健やかな避難生活に向けて

- ・エコノミークラス症候群への対応 健康体操、段ボールベッドの配給等
- ・温泉施設の無料開放(シャトルバスの送迎) お風呂の使えない自宅避難者への周知

2 災害証明書の早期発行

- ・建物被害認定要員の増員配置
- ・市町村事務の補助人員(行政職)の配置
- ・市町の業務スケジュール(目標)

3 住宅政策

- ・仮設住宅の検討
- ・公営住宅や借上住宅の提供
- ・職員住宅の提供
- ・屋根の迅速な修理

5 各部局の対応状況など 元気づくり総本部

（元気な鳥取の情報発信）

イベントやメディアを活用した元気な鳥取発信

【風評被害払拭大作戦】

首都圏・関西圏での観光キャンペーンと連携したPRイベントの実施
(10月27日アンテナショップでのイベントなど)

様々なメディアを活用した全国への情報発信

観光宣伝、宿泊サイトへの広告・情報発信・送客要請活動

海外からの誘客に向けた情報発信

災害被災地応援サイトの充実による情報提供

新たに住宅再建支援等を掲載

被災者が必要とする情報に合わせ、鳥取県ゆかりの方々からの応援メッセージなど被災者を元気づける情報の発信

観光地や交通機関等、観光地鳥取が元気であることの発信

(パンフレット等による支援施策の広報)

被災者向け、被災事業者向けに各種支援施策を取りまとめたパンフレットを作成し、市町等を通じて配布

支援施策を追加した改訂版を、現在作成中 (第2版:10/31発行予定)

【部数】:1,000部(第1版:10/25発行)

【配布先】:倉吉市、三朝町、湯梨浜町、北栄町、琴浦町、中部総合事務所

【主な掲載内容】

- ・被災者住宅再建支援補助金、被災者住宅修繕支援金
住宅が被災した世帯の住宅再建及び修繕を支援
- ・災害等緊急対策資金の貸付
施設・設備等の損壊や売上げ減少などの被害を受けた県内中小企業者に事業資金を貸与 等



避難生活の留意点や相談窓口、り災証明の説明などを掲載したチラシを作成し、各避難所などに掲示及び配布 (随時更新中)

広報媒体を使った支援施策等の広報

- ・県政だより12月号巻頭特集
- ・新聞広告(施策広報) など

総務部（応援職員派遣状況）

1 専門職の派遣

- 土木：宅地危険度判定士として24名を派遣
中四国各県と広島市及び岡山市からの応援職員70名を派遣
鳥取市、米子市、境港市、岩美町、智頭町、大山町からも15名を派遣
県建設業協会より1名が参加
- 建築：応急危険度判定士として建築士2名を派遣
岡山県、広島県、愛媛県、高知県と国からの応援職員34名を派遣
鳥取市、米子市及び境港市からも5名を派遣
県建築士会より民間建築士22名が参加
- 農業土木：本庁及び西部農林局からの応援2名と中部農林局の技師で
新たな被災箇所がないか点検を実施
県土地改良事業団体連合会より1名が参加
- 保健師：倉吉市、三朝町、湯梨浜町及び北栄町へ4名を派遣
鳥取市、米子市、南部町、広島県、岡山県、徳島県からも14名を派遣
中部福祉保健局及び倉吉市の行政支援として
島根県及び山口県からの応援職員8名

総務部（応援職員派遣状況）

2 避難所運営等の行政支援

- 各部局からの動員職員 42名（西部からの緊急支援チーム6名を含む）
 - 市町からの要請に応じて避難所運営、支援物資の配送、がれき置場の管理等に従事
- 熊本県益城町に避難所運営支援員として派遣した職員1名を
倉吉市に10月29日から11月2日まで派遣し、避難所運営を支援

総務部（避難所運営支援状況）

3 避難所運営物資（段ボール）の供給

災害時における物資供給に関する協定書に基づき、日段(株)に製造供給を要請。

要請受付	市町名	品目及び数量	納品先	対応状況
10/22(土)	倉吉市	間仕切り用段ボール: 2,000枚	倉吉市スポーツ センター体育館	引渡完了
10/25(火)	湯梨浜町	段ボールベッド:50床 間仕切り用段ボール: 160枚	湯梨浜町役場本 庁舎講堂	引渡完了
10/26(水)	倉吉市	段ボールベッド:100床	倉吉市スポーツ センター体育館	引渡完了
	北栄町	段ボールベッド:30床 間仕切り用段ボール: 90枚	北栄町役場大栄 庁舎	

総務部（ふるさと納税受付体制の状況）

4 災害支援寄附金の受付

概要

- 10月22日21時から鳥取県への災害支援を目的としたふるさと納税の寄附の受付を始めました。災害支援を目的としたものであることからお礼の品は提供しません。
- 28日午後2時現在約300件625万円の寄附の申し込みをいただいています。
- 他部局と連携し、県外での積極的なPRを行います。
- 倉吉市、三朝町、湯梨浜町、北栄町においても、民間のふるさと納税サイト「ふるさとチョイス」で災害復興支援の受付を実施。

地域振興部(公共交通機関の運行(運航)状況)

1 航空関係

国内線、国際線:通常運航

(1) 米子空港

国内線

・22日(土)以降、ANA国内線は通常運航

国際線

・香港便 22日(土) 台風の影響のため遅延

26日(水) 通常運航

・ソウル便 通常運航

(2) 鳥取空港

・22日(土) 以降、ANA国内線通常運航

・24日(月) 以降、鳥取空港連絡バス(倉吉方面)のうち三朝発着便(1日1便運行)は、路線バスが倉吉市内の一部迂回運行中は、鳥取空港 - 倉吉駅間運行とする。

2 鉄道

・22日(土)始発から、普通列車、特急列車いずれも通常運行。

3 バス(日ノ丸、日交、市町村営バス)

・23日(日) から県内全路線で通常運行

ただし、倉吉市内の一部区間(大原橋バス停～大原南口バス停)で迂回運行

4 隠岐汽船

・22日(土)から高速旅客船、フェリーともに通常運航

公共交通機関はすべて通常運行

日ノ丸バスが、倉吉市内の一部区間(大原橋バス停～大原南口バス停)で迂回運行中

鳥取空港連絡バス(倉吉方面)のうち三朝発着便(1日1便運行)は、上記迂回運航期間中は、鳥取空港 - 倉吉駅間運行とする。

地域振興部(文化・体育施設の状況)

倉吉体育文化会館の会議棟は10/31から開館予定

1 倉吉未来中心

- ・復旧に最低でも3か月以上かかる見込み
- ・10月専決により3億8千万円の復旧予算措置
- ・入居者の施設外への移転を開始・準備中

【被害状況】

- ・アトリウムの吊り天井の一部(約140㎡)が落下、内壁仕上げ材落下(複数箇所)
- ・アトリウムのトラス基礎部分に著しい損傷(事務所側のトラス基礎)等

その他、被害の詳細について鋭意調査中

2 倉吉体育文化会館

- ・体育館は復旧まで利用中止(数か月程度が見込まれる)
- ・会議棟は給水管の応急処置により仮復旧し、10月31日から開館予定

【被害状況】

- ・体育館 90cm四方の天井板が30数枚落下、外回り高窓ガラスが破損・落下、
1・2階部で軒天井仕上げ材等破損落下など
- ・会議棟 屋上高架水槽破損により漏水(水道の使用不可)など

注) 2施設とも倉吉市の避難所の指定となっているが、安全確認がされるまで閉館

地域振興部(私立学校・各種学校の状況)

幹事会報告時(10/26)から特段の状況の変化なし

1 私立学校の授業等

・倉吉北高校及び湯梨浜学園高等学校・中学校も、25日(火)より通常授業

・生徒の心のケアのため、

倉吉北高校には10/25、26、28日に敬愛高校から1名

湯梨浜学園には10/25～28日に城北高校から1名

スクールカウンセラーを派遣(10/31以降も当面2週間程度派遣の予定)

2 被害状況(平成28年10月26日から変更なし)

施設	被害状況等
倉吉北高等学校	体育館壁プレス、校舎防火扉損壊等
湯梨浜学園高等学校・中学校	校舎屋根瓦、体育館、防火扉損壊等があり、大掛かりな修理が必要
鳥取看護大学・鳥取短期大学	エレベーター外壁に亀裂、階段・通路の破損等があり、エレベーターを中心に大掛かりな修理が必要
岡山大学惑星物質研究所(三朝町)	棟内各所の壁にひび割れ、配管、ドア及び基礎コンクリートの破損等
鳥取県自動車学校(倉吉市西倉吉町)	教室、食堂のエアコン脱落、食堂の天井脱落、基礎破壊等があり、大掛かりな修理が必要
鳥取県倉吉自動車学校(北栄町)	校舎壁や天井、ガラス、ドアの破損多数、亀裂等があり、大掛かりな修理が必要
鳥取県中央自動車学校(倉吉市福庭町)	玄関入り口階段破損、一部天井脱落、校舎内壁亀裂等
倉吉予備校	校舎壁、床にひび割れ

10/26 幹事会
で新たに報告

地域振興部(被災市町への市町村職員応援)

人員がひっ迫する業務等に関して、速やかに職員が派遣できるよう、引き続き関係機関と連携し、調整に当たっていく

1 被災市町への職員応援体制

- ・県市長会及び県町村会と連携し、市町村職員の派遣支援体制を23日(日)に整備し、職員派遣の調整を実施中。

保健師派遣等、他に職員派遣に係るルートがあれば、そちらを優先

職員派遣情報は関係機関で共有

- ・県町村会では、今後の状況に応じて、徳島県町村会など近隣の町村会へ応援要請を行うことも検討中

- ・人員がひっ迫する罹災証明書発行業務等に関しては、生活環境部等関係部局と連携し、各市町において必要となる人員が迅速に確保できるよう対応していく。

2 被災市町村への応援状況

(市長会・町村会ルート)

<調整済>

平成28年10月27日 20:00時点

派遣元	派遣人数 (人日) (累計)	派遣先				派遣先調整 (確認)中
		倉吉市	湯梨浜町	北栄町	三朝町	
鳥取市	117	81	20	6	2	8
米子市	88	52		24	4	8
境港市	26	10		7	5	4
岩美町	19	9	3		7	
若桜町	7				7	
智頭町	11			1	10	
八頭町	13		2		11	
大山町	23		6	17		
南部町	15		5	8	2	
伯耆町	11		5	6		
日南町	2		1		1	
日野町	15			15		
江府町	6		4	2		
合計	353	152	46	86	49	20

<調整中>

三朝町から、瓦礫置場搬入受付事務、被災・罹災証明関係事務について要請あり(5名) 11/2分までは調整済。

湯梨浜町から、罹災証明関係業務について要請あり(6名) 一部調整済。また、災害対応にあたる町職員の代替職員として図書館事務及び一般事務について要請あり(各1名)

観光交流局

観光相談窓口への問合せ件数及び 宿泊キャンセル数

平成28年10月28日14時現在

1 観光相談窓口への相談・問合せ状況

28日14:00までの相談・問合せ件数 計 42件(観光地等の被災状況、交通規制情報、イベント開催予定等)
26日(前回幹事会)以降新たな問い合わせ 1件 県内の観光に関する問合せ相談窓口電話:0857-26-7273、7421

2 県内旅館・ホテルの予約キャンセル数(概算)

予約キャンセル数(10/28時点) **11,080人泊**

10.26時点
9,476人泊(1,604人泊増)

(単位:軒)

(単位:人泊)

	営業継続 ・再開	休業中	キャンセル数		計	
			10月21~23日	それ以降		
東部	鳥取温泉	4	0	158	268	426
	岩井温泉	3	0	40	184	224
	吉岡温泉	11	0	0	0	0
	浜村温泉	2	0		212	212
	若桜町内	-	-	233	32	265
	計		0	643	484	1,127
中部	三朝温泉	22	3		2,670	2,670
	はわい・東郷温泉	14	0	916	923	1,839
	関金温泉	3	1	78	140	218
	倉吉市内	16	5		266	266
	計		9	3,664	1,329	4,993
西部	皆生温泉	20	0	2,645	1,130	3,775
	米子市内	-	-	182	210	392
	境港市内	-	-	150	0	150
	大山周辺	-	-	372	271	643
	計		0	3,349	1,611	4,960
合計		9	7,656	3,424	11,080	

観光交流局（風評被害の払拭）

風評被害の払拭に向けた取組(第一弾)

10/27、28 国への要望活動

とっとりで待っとなります!!PRプロモーション(東京、大阪)



今後の取組:キャラバン実施やメディア露出の充実:「鳥取県は元気です」を継続発信(国内)

【観光関係者向け】地元、関係業界と連携した発信

中部観光振興機構が中心となったキャラバン実施 (11月8~10日(予定)に県も連携し東京、大阪、名古屋にてマスコミ、旅行代理店等への「鳥取中部元気プロモーション」等を準備中)

11/7鳥取砂丘イルミネーションPRのメディアキャラバン(岡山) / 11/15~20岡山マスコミキャラバン、イベント等

県旅館ホテル生活衛生協同組合が開設している大手旅行サイト「じゃらん」、「楽天」の鳥取県PRページに県観光連盟「鳥取県は元気です」ページをリンク掲載

ディスカバーウェスト連携協議会(JRと中国5県で構成)の観光説明会(10月下旬~11月上旬、東京、大阪、名古屋)

【一般の方向け】

ウェルカニキャンペーン強化「もっとウェルカニキャンペーン」カニのプレゼント毎月100名 毎月200名

ウェブや紙媒体での情報発信(兵庫県からHPへ県観連HP「鳥取は元気です」ページのリンクや、県内の全国展開企業からPR支援等の申し出多数)

都市圏に加え、中四国等へのキャラバン展開

(国外)→各地域での報道は、23日以降はほとんどなされていない。

韓国についてはエアソウル便に、キャンセルが生じているため、航空会社と連携したキャンペーンを強化。香港、台湾、中国、東南アジア市場は、今まで以上に誘客対策をしっかりと継続させていく。

福祉保健部の対応状況

1 医療機関等の対応

(1) 超急性期におけるDMAT及び医療救護班の活動経過

DMAT・日赤救護班

中央病院(4隊)等が、厚生病院での患者搬送、県庁での本部活動等に従事
10/21(金)～22(土)に7チームが活動し、10/22(土)撤収完了

医療救護班

県中部医師会チーム等が10/23(日)に倉吉市、湯梨浜町、北栄町
の避難所14箇所を巡回し、要診察者を診察
3チームが活動、通常診療が可能であり、10/23(日)撤収完了

(2) 10/28(金)の医療機関・薬局の診療の状況等(中部)

区分	10/28(金)の通常診療・営業の見込	継続中の主な被害
医療機関	○概ね全ての病院が通常診療可能(県調査) ○全ての診療所が通常診療可能(中部医師会調査)	○一部建物破損、医療機器故障
歯科医療機関	○全て通常診療可能(中部歯科医師会調査)	○一部建物破損、医療機器故障
薬局	○全て通常営業可能(県薬剤師会調査)	○なし

福祉保健部の対応状況

2 保健師の活動

(1) 保健師派遣チームの活動状況

鳥取県・鳥取市・米子市・南部町と広島県・岡山県・徳島県からの派遣チーム(計9チーム:18人)が倉吉市・湯梨浜町・北栄町において、避難所巡回に加え、在宅の要支援者(高齢者・障がい児者・妊産婦・新生児等)の訪問を実施中。

参考:市町保健師は、要継続者を中心に支援。

三朝町派遣の境港市チームは10/25(火)まで、北栄町派遣の大山町チームは10/27(木)で活動終了。31日(月)から琴浦町チームを倉吉市へ派遣決定。

県保健師は引き続き、市町保健師の後方支援を担当。

本日10/28(金)から倉吉市の要支援者訪問に2チームが活動再開。

島根県2チームは倉吉市の後方支援を担当。

主として、マスコミへの直接対応や要支援者家庭訪問計画の策定支援等。

昨日10/27(木)から、医療救護対策支部(福祉保健局)に山口県が後方支援。

(2) 在宅者巡回訪問の状況と判明した課題とその対応状況

- ・不安を訴える者・運動不足による足腰の痛み・血圧の上昇・便秘等に対して支援。
- ・精神障がい者等不安定な者に対する支援 専門職へつなぎこころのケアを対応中。
- ・認知機能の低下がみられる高齢者等 医療福祉サービスの調整等。
- ・エコノミッククラス症候群・生活不活発病の予防など引き続き周知。

自治体役員や民生委員との連携による支援が充実。

継続訪問並びに支援の必要な者を随時協力機関につないでいる。

(3) 避難所での保健医療等対策の実施状況と今後の活動検討

県歯科医師会の活動

災害用歯科診療車で避難所を巡回し、歯科口腔に関するアセスメントや口腔ケアを実施

10/26(水)湯梨浜町、10/27(木)北栄町、10/28(金)から倉吉市

【活動内容】 ブラッシング指導や義歯の管理指導など口腔ケアを実施(肺炎予防にも重要)

福祉保健部の対応状況

JRAT(大規模災害リハビリテーション支援関連団体協議会)の活動

エコノミークラス症候群予防対策等のため、10/26(北栄町)に引き続き、10/29から倉吉市、三朝町、湯梨浜町での活動予定

【活動内容】 エコノミークラス症候群や生活不活発病を防ぐための予防的な運動等を指導

生活不活発病 安静状態や体を動かさない状態が長く続くことにより、心身の機能が低下する症状。医学的には廃用症候群という。
筋力や心肺機能が低下し、日常的な動作にも支障をきたすようになり、精神面でうつ状態になることもある

福井大学医学部(山村医師)の活動

10/25倉吉市の避難所でエコノミークラス症候群予防に向け避難所調査を実施

10/29倉吉市の避難所をチーム(医師2、検査技師1)でエコノミー症候群の巡回検診を実施。

(下肢静脈エコー)

地域災害医療コーディネーター拡大会議の開催(10/29)

避難所等での災害関連死等を防ぐため、中部医師会、看護協会等地域医療コーディネーターに関係機関を加えた拡大会議を開催し、関係者間で情報共有を図り、今後の対策を検討する。

【日 時】 10/29(土)13:00～

【場 所】 中部総合事務所福祉保健局

【参集機関】 中部医師会、中部歯科医師会、中部薬剤師会、厚生病院、中部福祉保健局
中部の市町村、看護協会、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士会
精神保健福祉センター、栄養士会、健康運動指導士会等

【目 的】 情報共有、今後必要となる対策及び実施体制の検討

(3) 協力機関の支援

(継続中の支援)

鳥取県看護協会災害支援ナースが湯梨浜町、三朝町、北栄町の避難所で活動(24時間体制)

鳥取県介護福祉士会が湯梨浜町の避難所で介護の必要な高齢者の支援を実施

精神保健センター原田所長が、避難所や在宅の要支援者のこころのケアを実施

鳥取看護大学が倉吉市においてボランティア対象の健康相談等を実施

福祉保健部の対応状況

3 「平成28年鳥取県中部地震災害義援金」の募集

10月21日(金)に発生した地震により被害を受けた県民の方の復興の一助として、「平成28年鳥取県中部地震災害義援金」について募集開始

受付期間 平成28年10月25日(火)から平成28年11月25日(金)まで

実施方法

(1) 募金箱の設置

[共同募金会]	鳥取県共同募金会
[NHK鳥取放送局]	NHK鳥取放送局
[鳥取県]	県庁(県民課)、各総合事務所地域振興局、県立図書館、県立博物館、県外本部等

(2) 口座振込み

[日本赤十字社]	山陰合同銀行・鳥取銀行の指定口座
[共同募金会]	山陰合同銀行・鳥取銀行・ゆうちょ銀行の指定口座
[鳥取県]	山陰合同銀行・鳥取銀行の指定口座

(3) 現金書留による送金

現金書留でお送りいただく場合は、現在、鳥取県共同募金会(鳥取県福祉人材研修センター内)で手数料が無料になるよう手続中

災害ボランティアセンター

災害ボランティアセンター設置・活動状況

市町	開設時期	開設場所	10月28日(金)の活動内容
倉吉市	10月22日(土) 午後2時	上灘 公民館	ボランティアの受付(8:30～17:00) 54名のボランティアが活動中(午前中) 27日: ブルーシート張り、瓦礫・家屋片付け、土嚢づくり(114名)
湯梨浜町	10月22日(土) 正午	湯梨浜町役場 別館講堂	ボランティアの受付(9:00～17:00) 6名のボランティアが活動中(午前中) 27日: ブルーシート張り、瓦礫・家屋片付け、土嚢づくり(15名)
北栄町	10月22日(土) 午前10時	北栄町 社協	ボランティアの受付(9:00～17:00) 12名のボランティアが活動中(午前中) 27日: ブルーシート張り、瓦礫・家屋片付け、(46名)
三朝町	10月25日(火) 午前8時半	三朝町 社協	ボランティアの受付(8:30～17:00) 2名のボランティアが活動中(午前中) 27日: 瓦礫・家屋片付け、土嚢づくり(15名)
県社協	10月22日(土) 正午	鳥取県社協	災害救援ボランティアセンター支援本部の運営 活動内容: 市町の災害ボランティアセンターの支援 倉吉市: 2名、湯梨浜町: 1名、北栄町: 1名、三朝町: 1名 派遣 27日: 倉吉市: 2名、湯梨浜町: 1名、北栄町: 2名、三朝町: 2名 派遣 情報収集・広報、コーディネート、ボランティアの安全確保に関する注意喚起

生活環境部の対応 1

【対応状況】 第7回本部会議以降の変更箇所を下線。

<p>上・下水道</p>	<p>< 上水 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 倉吉市: 復旧作業により、管路等の破損箇所は全面復旧し断水解消。 配水塔(生竹地区)倒壊の危険があり、3世帯(11人)避難中。 ・ 各町: 断水は解消。 <p>< 下水 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 下水道被災箇所が徐々に判明し、市から応援調査員を町へ派遣中(湯梨浜町)。 ・ 県浄化槽協会との協定により、浄化槽の点検を実施中。
<p>災害廃棄物の仮集積場</p>	<p>倉吉市: 1カ所。22日14時から受け入れ開始。(10/24からは9~17時受入れ) 三朝町: 1カ所。23日8時30分から受け入れ開始(8時30分~17時受入れ) 湯梨浜: 3カ所。22日13時から受け入れ開始(9~17時受入れ) 北栄町: 2カ所。22日15時から受け入れ開始(9~17時受入れ) 琴浦町: 1カ所。24日10時から受け入れ開始。(10~15時受入れ) 10/30閉鎖予定。 墓石の処理については、個人処理とするよう調整。 仮集積場の廃棄物処理が円滑に進むよう、県、市町村、事業者で協議(10/27) ほうきりサイクルセンター焼却炉2号炉について、焼却炉内部の耐火レンガ等が落下し運転が不可能 修繕に12月一杯かかるみこみ。 現状は1号炉が問題無く運転中であり、処理はできている。</p>
<p>避難所宿泊者の温泉旅館でのおもてなし</p>	<p>避難生活で疲労の蓄積している避難所宿泊者を温泉旅館・ホテルでおもてなしすることを県旅館ホテル生活衛生同業組合と調整中。</p>
<p>悪質商法への注意喚起など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県の被災地応援サイトに情報掲載。 ・ 被災者向けチラシを作成し、配布を手配済み。 ・ 被災した中部消費生活センターは、中部総合事務所に場所を確保し、相談体制整備。

生活環境部 2

【対応状況】 第7回本部会議以降の変更箇所は赤字・下線。

<p>応急危険度判定</p>	<p>【実施状況】約7,000件のうち5,817件終了。うち「危険」214件。<u>10/29で概ね終了予定</u> 各市町の要請に応じられるよう、増員。<u>(27日まで延べ332人)</u> 23日:17名(8チーム) 倉吉市以外の市、県の職員、徳島県(2名) 24日～:島根、岡山、広島、山口、徳島、香川、愛媛、高知、宮城、中国地方整備局から応援 (24日38名、25日54名、26日54名、<u>28日50名</u>の応援受入れ)</p>
<p>り災証明</p>	<ul style="list-style-type: none"> 県建築士事務所協会、県内市町村、関西広域連合に業務経験者の派遣を要請中。 <u>本日、総務省を通じた全国自治体への応援要請について、被災市町と打合せ実施。</u> <u>本格着手後、一次判定を2週間で終わらせることを目標に、必要な職員数を算定し業務体制を構築。</u>
<p>住宅再建支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> 被災した住居の修繕支援について、24日に被災者住宅再建支援制度運営協議会で一部損壊を対象とすることを確認。 25日の知事専決補正予算により鳥取県被災者住宅再建当総合支援事業を実施。 被災者住宅再建支援補助金 助成額:30万～300万円 対象:全壊、半壊、一部損壊(損害基準判定10%以上の世帯) 被災者住宅修繕支援金 助成額:5万円(但し、4%以下の軽微な損壊は、段階的に1万円まで支援額を引き下げ) 対象:一部損壊(損害基準判定10%未満の世帯) <u>支援金交付要綱及び申請様式を市町村へ配布済み。(31日に市町村説明会を開催予定)</u>
<p>住宅の提供</p>	<ul style="list-style-type: none"> 自宅に戻れない場合に、入居可能な県営住宅を確保。10月26日から入居希望を受付。 県営住宅の募集戸数を追加。19戸 <u>48戸</u>(鳥取市内7、倉吉市内<u>35</u>、米子市内6) <u>28日正午現在申込受付24件(土日も中部総合事務所で申請受付を継続)</u> <u>県職員住宅12戸を確保(鳥取市内4、倉吉市内5、米子市内3)</u> <u>倉吉市、三朝町内の雇用促進住宅(4団地)の活用及び見なし仮設住宅についても検討中。</u>
<p>建物修繕相談窓口</p>	<p>10月23日、中部総合事務所2号館(2階)に『被災建物修繕等総合相談窓口』開設。 9～17時まで、2名体制(県職員+県瓦工事業組合)で対応。</p>

生活環境部（罹災証明業務支援）

被災市町が実施する罹災証明業務を支援

県建築士事務所協会、県内市町村、関西広域連合に業務経験者の派遣を要請中。
本日、総務省を通じた全国自治体への応援要請について、被災市町と打合せ実施。
・本格着手後、一次判定を2週間で終わらせることを目標に、必要な職員数を算定し業務体制を構築。

不足する人員を、総務省経由で全国自治体に対し、派遣要請。【総務部対応】

	必要職員数	県事務所協会	県内市町村	関西広域	総務省	計
倉吉市						
三朝町						
湯梨浜町						
琴浦町						
北栄町						
計						

精査中

(参考) 業務班編制: 罹災証明応援職員2名 + 被災自治体職員1名 = 3名 / 班

被災自治体職員が不足する場合は、県内市町村職員及び県職員が応援。

商工労働部(被害・対応状況)

県内企業の被害状況の概況

10/26 16時以降の新たな情報を下線で記載。

県内の主要製造業 (主要製造業約50社を調査)

- 現時点では、聞取りを行った約50社のうち9割近くが操業を再開。(完全復旧はまだ先)

県内の中小・小規模事業者 (中部管内の商工団体会員約2,300社を対象に調査中)

<小売・飲食業> 建物屋根・壁のヒビ・剥落のほか、

- 小売業では陳列商品の落下による破損が発生。(瓶詰の酒・飲料・油等)
- 飲食業では食器等の落下が多発、レジ・厨房機器の破損も発生。

<製造業> 建物被害のほか、生産ラインの機械設備の破損、ズレ等が多発。

<その他> (自動車整備) リフトアップ中の車両が落下し、他の整備車両含め被害発生。
(石材加工業) 石材商品が倒壊し、損害が発生。
(運輸業) 自粛ムードが広がり、行楽用レンタカー・バスのキャンセル発生。

倉吉商工会議所も復旧し、中小小規模事業者の被災状況を調査中。

- ・ 建物内の安全を確認後、10/25(火)に「鳥取県中部地震特別相談窓口」を開設。
- ・ 管内の会員企業約1,000社の被災状況を調査するとともに、相談も受付。

県内各支援機関、鳥取労働局も特別相談窓口を開設して相談に対応。

<県内の他の支援機関> 商工団体、政府系金融機関などにも「特別相談窓口」を開設。災害復旧貸付、既往債務の返済条件緩和等に対応を実施。

<鳥取労働局> 鳥取労働局・労働基準監督署に「特別相談窓口」を開設。休業に伴う労働相談、復旧作業に当たる労働者の安全相談や、失業給付受給の手續緩和等を実施。

商工労働部(今後の取組)

今後の支援

- 鳥取県中部地震からの復興を話し合う官民会議(10/26)
「元気に事業継続していけるよう、金融支援や風評被害を封じる対策を」
- 10/27、商工団体・金融機関・県が集まり「復興に向けた企業支援施策に係る関係機関会議」を開催。
県の「特別金融支援事業」を始めとする企業支援策について情報を共有し、積極的に活用して復興に取り組むことを確認。

「震災対策企業支援ネットワーク」を立ち上げ、 被災企業の経営課題に応じた具体的な支援を実行(11/1~)

(メンバー) 商工団体・金融機関・保証協会・産業支援機関・国(経産局・労働局)・県・市町
(役割) 被災企業の金融支援(借換資金・条件変更等)、経営支援(技術的支援・販路開拓等)、
雇用支援(雇用継続・健康管理等)をトータルで支援。

- 11/1から毎週定期的に支援会議を開催(国機関も加え、連携のとれた一体支援を実施)

適時に予算措置を講じ、切れ目ない支援を展開

専決予算

「がんばる企業を応援！特別金融支援事業」

- (1) 災害等緊急資金「鳥取県中部地震対応枠」の増枠(10億円 50億円)
- (2) 復興支援利子補給制度の新設(5年間無利子化)
- (3) 復興支援保証料軽減補助制度の新設(5年間無保証料)

11月補正

商圏拡大・需要獲得支援事業<調査検討型(生産性向上枠)>の増枠
県外・海外への商圏拡大及び需要獲得のための調査・検討経費支援を増額

鳥取県版経営革新総合支援事業<スタート型・生産性向上型>の増枠
地震を機に生産体制を見直し、販路開拓等で売上拡大を図る事業者迅速に対応

農林水産部の対応

1. 被害施設の速やかな復旧支援

- JA選果場等の共同利用施設について、国事業を活用しながら、速やかな復旧を支援する
- 被害内容・規模を精査中であり、応急危険度判定士診断は明日完了予定
(現在判明分で既に被害規模は約5億円)

施設区分	主な施設名	主な被害内容	被害額(概算)
選果場	倉吉梨、東郷梨、大栄西瓜	建物破損(壁・ガラス割れ、基礎)、選果機破損	280,000千円
ライスセンター、カンテールエレベーター	秋喜、北条	建物・乾燥施設の破損	188,000千円
漁業施設	赤碕町漁協荷さばき所	外壁一部崩落	1,000千円
大山乳業農業協同組合	粉乳工場	建物・工場基礎の破損	30,000千円

2. 落果梨の販売促進

- 中部全域で落果被害があり、被害額は6,272万円
- 東京・大阪で梨販売促進キャンペーンを実施(10/27:東京アンテナショップ、10/28:JR大阪駅)
- 落果梨はほぼ集荷しており、市場・小売店販売のほか、県外自治体(真庭市、港区役所)等からの要請に基づき全量出荷中

取扱い中のイオングループ販売単価: @298円 (通常の販売価格は400円~500円)

千疋屋は落果していない梨の取扱いを検討中、11/2に来県予定

農林水産部の対応

3 . ため池、農地、農業用施設の災害復旧

- 被災箇所の確認作業を進めており(現段階で被害箇所:136箇所、被害額:約1億2千万円)、国・県事業を使いながら速やかな復旧を支援する

区分	被害場所	主な被害内容	被害額(判明分)
農地	湯梨浜町(長瀬)、三朝町(鎌田)等 23箇所	芝畑の液状化、水田・畑法面の崩壊	11,500千円
ため池	倉吉市(池ノ谷)、琴浦町(松谷第1)等 12箇所	天端クラック、連絡道の路肩崩壊、崖の崩壊	5,200千円
農道	倉吉市(大平農免)、北栄町(北条西農免)等 61箇所	路面クラック、法面崩壊	48,500千円
水路	倉吉市(四王寺)、北栄町(北条砂丘)等 27箇所	水路法面崩壊、水路壁クラック、パイプライン漏水	14,100千円
集落排水	倉吉市、湯梨浜町等 12箇所	施設の地盤沈下、施設の破損	41,200千円

4 . 食糧の調達

- スーパーマーケット、コンビニ等からの手配により十分な食糧を調達する
- 30日からカップ付きスープ類の提供を予定

日付	要請元(食数)	手配状況
<u>29日</u>	倉吉市(500食)、湯梨浜町(100食)、北栄町(100食)、三朝町(50食)	コンビニ、仕出し店から、水・弁当等を調達
<u>30日</u>	倉吉市(500食)、湯梨浜町(100食)、北栄町(100食)、三朝町(50食)	コンビニ、仕出し店から、水・弁当等を調達

県土整備部の対応

1. 県土整備部所管にかかる被害、点検状況 28日13時時点(は26日13時時点からの追加部分)

(1) 公共土木施設被害状況

道路

【通行止】県管理 全面2路線、片側0路線 国管理 片側1路線、全面0路線

全止 県管理 鳥取鹿野倉吉線(三朝町大瀬～倉吉市大原) 11月2日片側交互通行で解除予定
下見関金線(倉吉市森) 11月1日解除予定

片交 国管理 国道9号(鳥取市青谷町青谷) →10月28日午後片側交互通行で解除予定

【被害箇所】【県管理】道路54箇所、橋梁0箇所 【市町村等管理】道路41箇所、橋梁0箇所

河川 【被害箇所】【県管理】10箇所 【市町村等管理】1箇所

海岸保全施設 【被害箇所】1箇所

ダム 【被害箇所】0箇所

港湾 【被害箇所】1箇所

治山 【被害箇所】1箇所

下水道 【被害箇所】【県管理】1箇所 【市町村等管理】7箇所

その他施設(砂防設備ほか) 【被害箇所】0箇所

被害箇所
は災害
査定等に
向けて
準備中

(2) 土砂災害危険箇所点検

10 / 22から実施中。10月28日で全箇所終了。27日までに1,146箇所点検済

A(緊急対応必要箇所):9箇所、B(経過観察):70箇所、C(対応不要):1,067箇所 速報値

2. 被災宅地危険度判定派遣

10 / 21から実施中。11月5日までにすべての判定を完了する予定。

10 / 27までに2,975件判定 (青(調査済)2,674件、黄(要注意)186件、赤(危険)115件)

企業局の対応

水力発電施設

- ・小鹿第一発電所 導水管路の空気弁からの漏水
 - ・応急対応として発電を停止し、取水口を閉じて抜水作業を行い、漏水が止まったことを確認。(10月24日)
 - ・発電停止期間中は、暫定水位でのダム管理運用を行う。
(運用最高水位 通常:15.9m、暫定:11.5m)
- ・小鹿第二発電所 外構にわずかな段差が発生
- ・その他の発電所 異常なし

ダム及び調整池

- ・茗荷谷ダム 異常なし
- ・中津ダム・調整池 堤体部異常なし
- ・中津ダム湖周辺斜面の崩落も確認されず
 - ・ダム水位の監視体制を継続し、降雨によるダム放流に備える予定。

風力発電施設 異常なし

太陽光発電施設 異常なし

工業用水

- ・鳥取地区工業用水 異常なし
- ・日野川工業用水 異常なし

小鹿第一、第二発電所の今後の対応

- ・調整池のにごりは、当分の間、経過観察。
- ・漏水止水工事及び隧道内部の安全確認を行い、年内を目途に発電を開始。

県立病院の被害状況及び今後の対応

通常どおり稼働中（前回と変更なし）

【厚生病院】

（１）施設被害・ライフライン

旧館の壁にひびが入る等、建物の一部に損傷はあるが、
診療に影響はない

新館正面玄関前及び救急外来入口等の敷地に段差

検査機器(MRI)や放射線治療機器(リニアック)を含め、全ての機器は通常どおり
稼働中

水道、ガス等ライフラインは完全復旧

復旧工事実施中

（２）診療

外来：一般外来、救急外来とも通常通り

入院：通常通り

（３）給食の提供

24日(月)朝食から通常通り

教育委員会（学校等の状況）

10/28 14:00時点 下線部が主な変更箇所

- 1 授業の実施【県立学校（全32校）及び公立小中特別支援学校（全187校）】**
通常どおり実施（10/28）
- 2 スクールカウンセラーの活動**
スクールカウンセラーを中部地区の全校に派遣。心のケアが必要な児童生徒に対してカウンセリングを実施中
- 3 兵庫県教委の震災・学校支援チームEARTH（アース）及び熊本県教委派遣者による支援活動**
児童生徒の心のケア、学校避難所運営、学校給食再開等に対する支援を実施中。当該チームのノウハウ・アドバイスも生かしながら子ども達へのきめ細やかな対応を実施
「鳥取中部地震における心のケア研修会」
国内をはじめ海外においても学校を支援してきたEARTH（アース）の方に講義等をしていただき、児童生徒、教職員への適切な対応に係る研修会を実施する
【10/27(83名参加)、10/31、11/1】
- 4 学校施設・給食センター等への対応状況**
施設の復旧等について、県教育委員会も各市町教育委員会の支援を実施
- 5 教職員への心のケア**
教職員の心身の疲労等が表面化してくる時期であるため、ストレスチェック制度やメンタルヘルス事業（公立学校共済組合）等の活用を呼びかけるなどの対応を実施